

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	快適な生活環境を備えた魅力ある定住都市の創出（第2期）												
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	石川県,野々海市												
計画の目標	野々海市においては人口の増加傾向が継続しており、その受け皿として計画的に宅地整備を行うことによる快適な住環境の創出を目指している。 また、あわせて市内での円滑な移動に必要な都市内幹線道路の整備を進めることも生活環境整備においては必要である。 本計画により、快適な生活を送るために必要となる都市基盤の整備を進めることで魅力的な定住都市の形成を図るものである。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	960	A	960	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R1当初		R6末
1	土地区画整理事業施行地区内人口を611人(H31.3末)から1,300人(R6末)に増加させる。 土地区画整理事業施行地区内の人口 野々海市西部中央土地区画整理事業施行地区および野々海市小林土地区画整理事業施行地区内の人口の合計	611人	人	1300人
2	野々海市市立地適正化計画における居住誘導区域内人口を46,983人(H31.3末)から48,500人(R6末)に増加させる。 野々海市市立地適正化計画における居住誘導区域内の人口	46983人	人	48500人
3	野々海市市内での移動円滑化率を86%(H31.3末)から91%(R6末)に増加させる。 市内における移動円滑化率 (移動が円滑化された道路延長 / 市内において都市計画決定された道路延長) × 100	86%	%	91%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R02	R03	R04	R05	R06				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
道路事業	A01-001	街路	一般	石川県	間接	土地区画整理組合	区画	改築	野々市市中林地区(都四 十万・末松線外)	区画整理 A=31.1ha	野々市市						432	-		
	A01-002	街路	一般	石川県	間接	土地区画整理組合	区画	改築	野々市市西部中央地区(都 高尾郷線外)	区画整理 A=21.0ha	野々市市							128	-	
	A01-003	街路	一般	野々市市	直接	野々市市	市町村道	新設	(都)野々市中央公園西 線	バイパス L=0.5km	野々市市							400	-	
												小計							960	
												合計							960	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 野々市市において評価を実施	事後評価の実施時期 計画期間終了後
	公表の方法 石川県、野々市市ホームページで公開
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業による宅地および商業地の整備により、新たな住宅地への居住誘導を図るとともに、本市の人口増加および定住促進に寄与する。 ・都市計画道路の整備による市内移動の円滑化に伴い、地域間の連携を高めることで、市民が安全かつ快適に暮らせる居住環境の向上に寄与する。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業に伴う調整池および水路の整備により、近年の局地的な豪雨に対する浸水被害軽減に寄与する。
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・円滑な交通流動を促す道路ネットワーク形成に向け、今後も都市計画道路の整備を推進していく。 	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	土地区画整理事業施行地区内の人口（西部中央地区及び中林地区）	
	最終目標値	1300人
	最終実績値	1065人
土地区画整理事業について、当初の事業期間より延長しており、現在も宅地整備が継続中であるため。		
2	立地適正化計画における居住誘導区域内人口	
	最終目標値	48500人
	最終実績値	48435人
土地区画整理事業について、当初の事業期間より延長しており、現在も宅地整備が継続中であるため。		
3	市内における移動円滑化率（都市計画道路の整備進捗率）	
	最終目標値	91%
	最終実績値	91%
土地区画整理事業の整備に合わせ、都市計画道路の整備が実施された。		